ミドルレンジ2次元汎用CAD Interactive Intelligent CAD System for Windows

MDraf Spirit

コンテンツマネージャガイド

はじめに

コンテンツマネージャのご使用に関して、変更の有無に関係なくいかなる場合にも当社は一切責任を負いかねます。登録されたタブ情報を管理する ContentMaster.csv ファイル、各タブに登録されたファイルを管理するカタログファイル、実データファイルは定期的なバックアップを強く推奨します。

目次

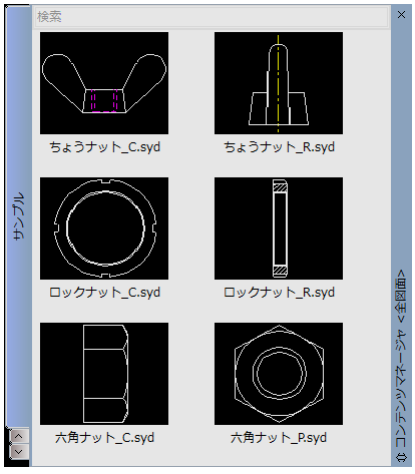
1. コンテンツマネージャとは 3
2. コンテンツマネージャのファイル管理方法 5
3. タブの登録方法 6
4. コンテンツマネージャの表示／非表示 8
5. パネル部分の表示領域の幅変更 9
6. コンテンツマネージャへのファイル登録方法 9
7. コンテンツマネージャからのファイル配置方法 11
8. 登録したファイルのサムネイルサイズを変更する 12
9. 登録したファイルの表示方向、表示順序に関して 13
10. 指定したファイル名でフィルタ表示を行う 15
11. 登録ファイルのコンテンツマネージャ専用プロパティ 16
12. 投影面の表示切替え 17
13. コマンドの登録 18
14. 登録ファイル・登録コマンドの削除 19
15. コンテンツマネージャの共有・管理 20
16. コンテンツマネージャの初期設定 22

1. コンテンツマネージャとは

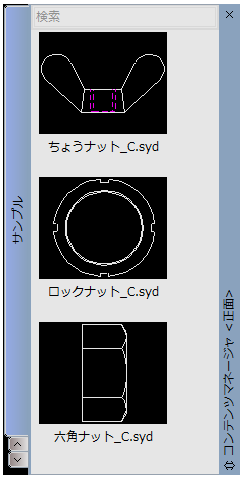
コンテンツマネージャへシンボルファイルや図面ファイルを登録しておくことで、
簡単なアクセス操作で各種図面ファイルを開いたり配置することができます。
また、M-Draf Spirit の作図コマンドや Microsoft Office 文書などの登録も可能です。

コンテンツマネージャでは主に、下記のようなことが行えます。

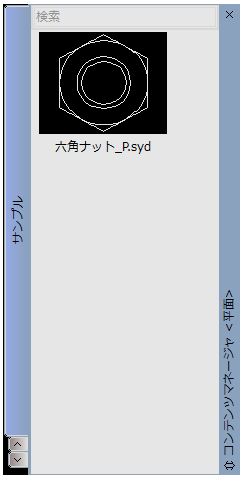
①登録した図面ファイルに正面や平面などの面情報を持たせて、面ごとの表示切替えを行えます。



全図面表示

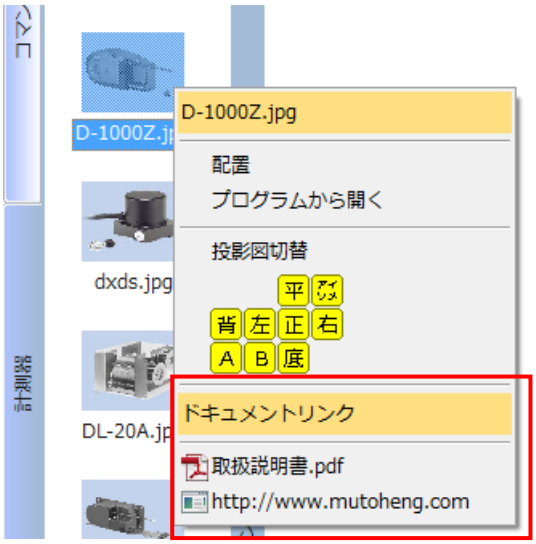


正面表示

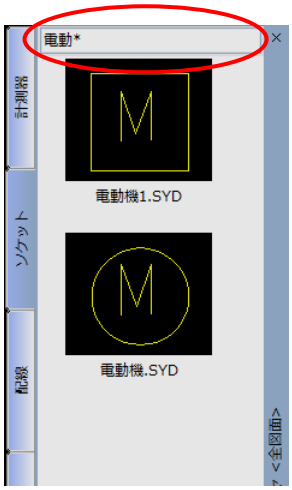


平面表示

②各図面ファイルに対して Microsoft Office 文書や
メーカーホームページの URL を関連付けること
ができます。



③フィルタ表示を行うことができ、簡単に目的の
ファイルを見つけることができます。



④M-Draf Spirit の作図コマンドを登録できます。
作図コマンドは色・ペン番号などのスタイル情報を
持つことができます。

2. コンテンツマネージャのファイル管理方法

コンテンツマネージャに登録したタブは、個々にカタログファイルと呼ばれる管理ファイルを持ち、登録される図面のパス情報などを管理します。また、カタログファイルを管理するためにコンテンツマスターファイルと言う管理ファイルを使用します。

コンテンツマスターファイル

登録されているタブ名とタブ毎に持つカタログファイル情報などを管理します。
コンテンツマスターファイルの置き場所は、[設定ーカスタマイズーコンテンツマネージャ]で設定します。

例)

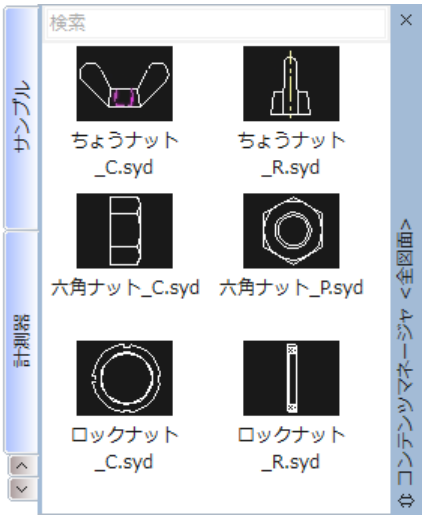
C:¥Draw¥ContentMaster.csv

```
サンプル,C:¥Draw¥Sample.csv
計測器,Z:¥図面¥カタログ¥digicollar.csv
```

カタログファイル(1～n 個)

タブに登録されたシンボルファイルや図面ファイルのパス情報などを CSV 管理します。

例)



サンプルタブ：C:¥Draw¥Sample.csv

```
C:¥M-Draf Data¥Spirit 2012¥ちょうナット_c.syd
C:¥M-Draf Data¥Spirit 2012¥六角ナット_c.syd
```

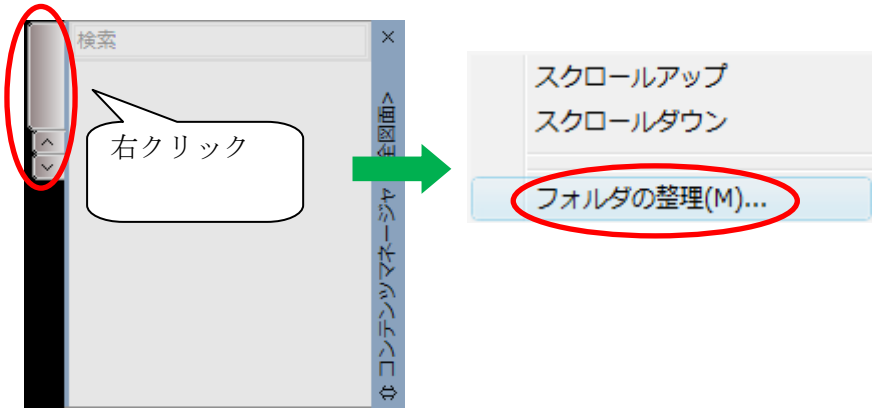
計測器タブ：Z:¥図面¥カタログ¥digicollar.csv

```
Z:¥図面¥D-1000Z.mdg
Z:¥図面¥D-540.mdg
```

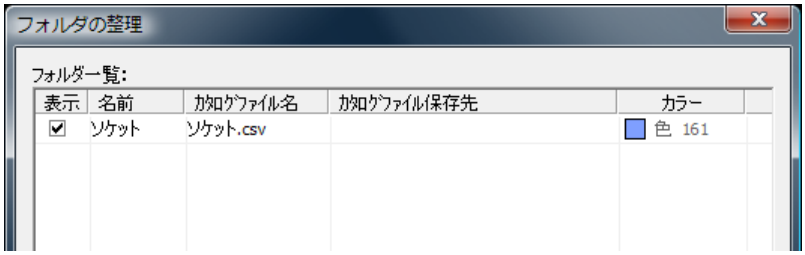
3. タブの登録方法

タブの登録方法は以下の通りです。

①コンテンツマネージャのタブ部分を右クリックし、表示されるメニューから「フォルダの整理」をクリックします。「フォルダの整理」画面が起動します。



②「フォルダの整理」画面にて「新規追加」ボタンを押下し、作成するタブに関する情報を入力します。

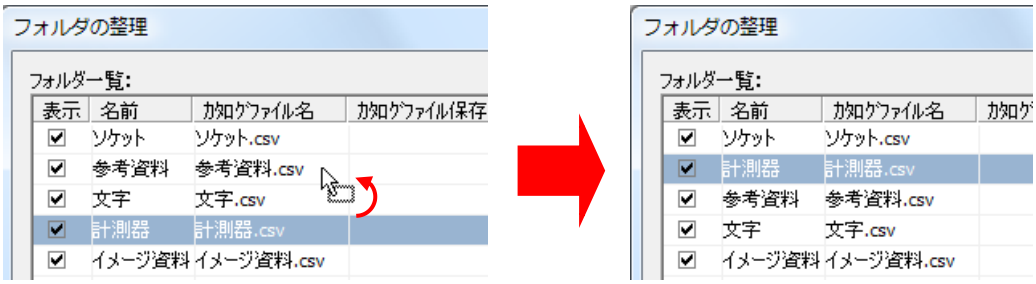


列名	説明
表示	レ点を外した場合、タブは非表示タブとなります。
名前	タブ名を設定します。
カタログファイル名	タブに登録されるファイルを管理するカタログファイル名を設定します。
カタログファイル保存先	カタログファイルの保存場所を指定します。指定がない場合は、[設定－カスタマイズ－コンテンツマネージャ]に指定されるマスターデータフォルダに生成されます。
カラー	タブの色を設定します。

③「OK」ボタンを押下すると、タブが生成されます。

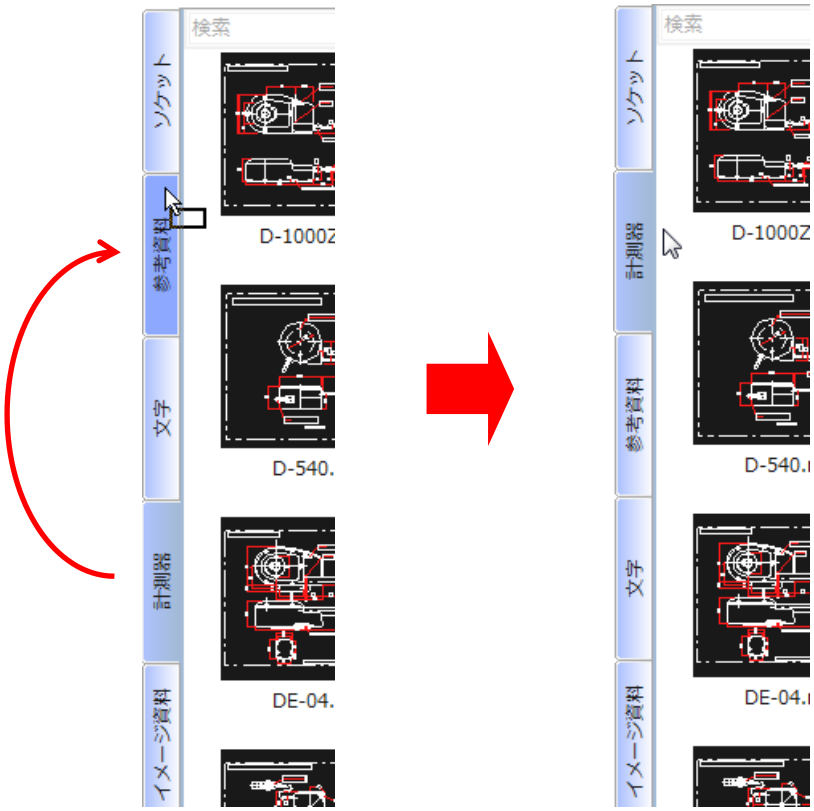
タブの表示順序を変更する方法は以下の２通りです。

1. フォルダの整理画面で表示順序を変更する
   ①タブ部分の右クリックメニューから「フォルダの整理画面」を起動します。
   ②表示位置を変更したい行を選択し、移動先へドラッグ&ドロップします。
   ドロップした行の前に選択行が移動します。



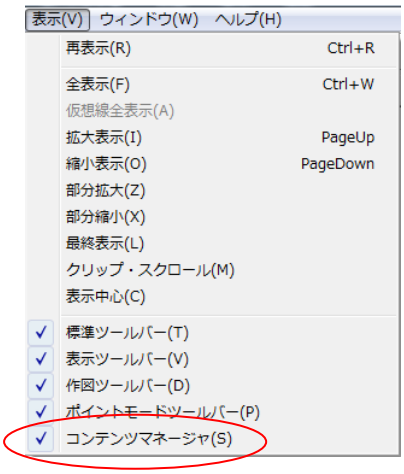
   ③「OK」ボタンを押下して、「フォルダの整理画面」を終了します。

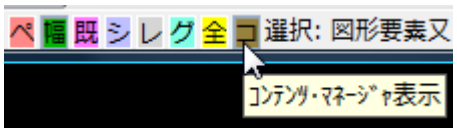
2. タブを直接編集し、表示順序を変更する
   ①表示位置を変更したいタブを選択し、移動先タブへドラッグ&ドロップします。
   ドロップしたタブの前に選択タブが移動します。



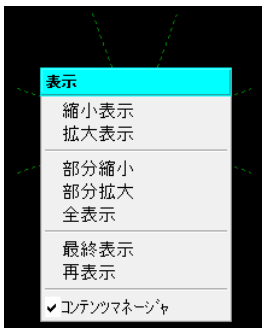
4. コンテンツマネージャの表示／非表示

コンテンツマネージャの表示／非表示は、[表示－コンテンツマネージャ] メニューから行います。このメニューは、Q ボタン・ポップアップメニュー・アクセラレータに割り当てることができます。



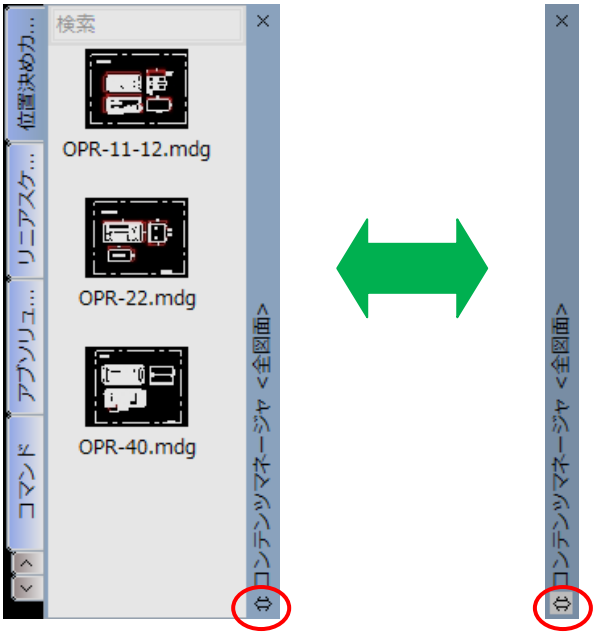


Q ボタン



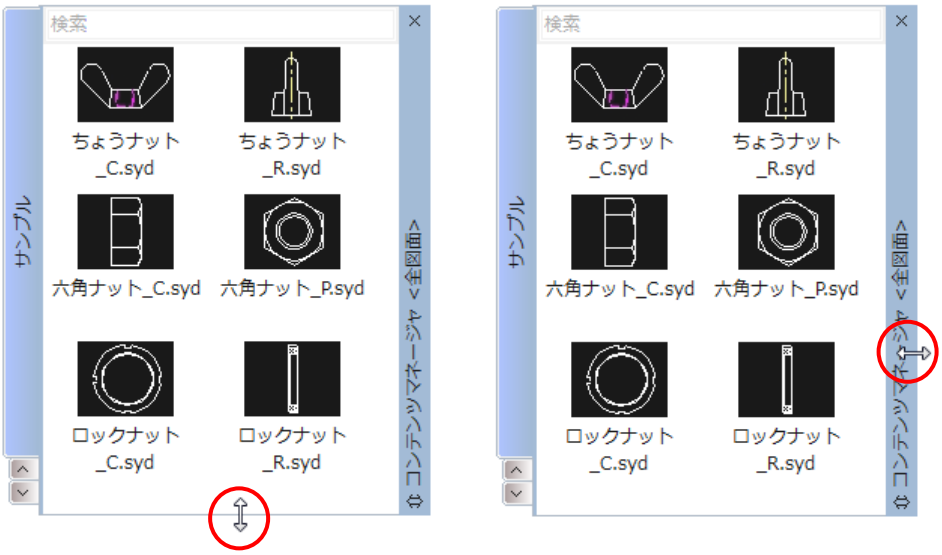
ポップアップメニュー

また、バー部分の「⇔」を左クリックするごとに、パネル部分を隠すことができます。



5. パネル部分の表示領域の幅変更

パネル部分の表示領域幅は自由に変更することができます。下部または右端をマウスの左ボタンでドラッグ&ドロップします。

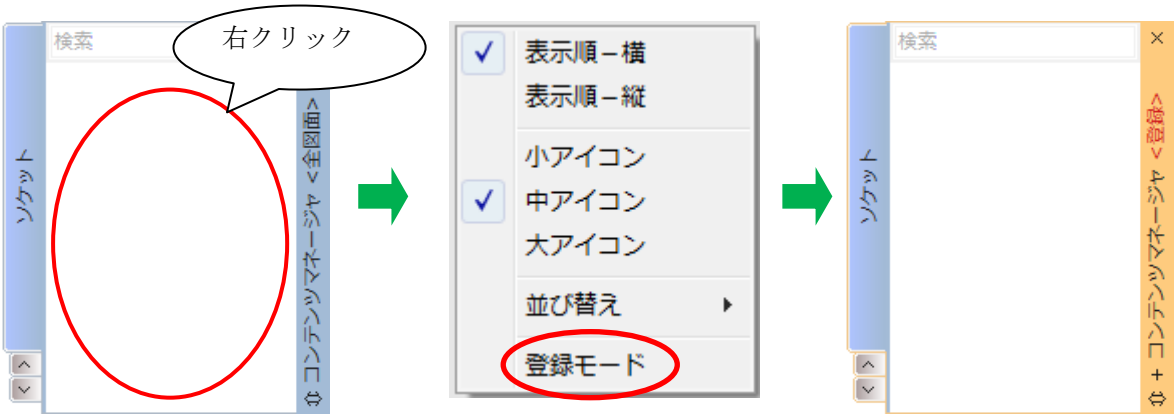


6. コンテンツマネージャへのファイル登録方法

作成したタブへ各種図面ファイルや Microsoft Office 文書などを登録します。

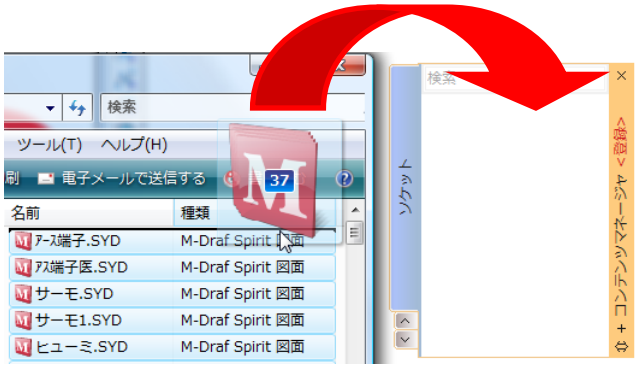
登録方法

①パネル部分を右クリックし、表示されるメニューから「登録モード」をクリックします。



コンテンツマネージャのバー部分が黄色で表示されたら「登録モードです」。

②Windowsエクスプローラーから登録したいファイルをパネル部分へドラッグ&ドロップします。



③タブへのファイル登録が終了したら、パネル部分を右クリックし、登録モードを解除します。コンテンツマネージャのバー部分が青色で表示されます。

登録可能な図面ファイルは以下の通りです。

- M-Draf 関連のシンボルファイル（.syd、.syw、.sy3）
- M-Draf 関連の図面ファイル（.mdg、.piw、.pi3）
- ViSiON ファイル（.dwg、.dwx）
- DWG／DXF ファイル（.dwg、.dxf）
- SXF ファイル（.sfc、.p21）

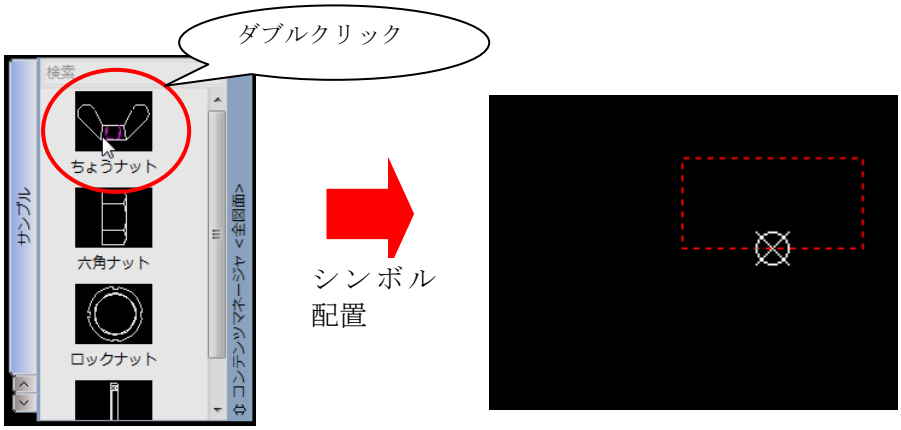
※図面ファイルを登録する際、図面ファイルが存在するディレクトリにコンテンツマネージャで使用するサムネイルファイル（.jpg）が自動作成されます。ディスク容量は十分に余裕を持たせて下さい。なお、コンテンツマネージャから図面ファイルを登録解除した際に、サムネイルファイルは自動で削除されます。

その他登録可能なファイルは以下の通りです。

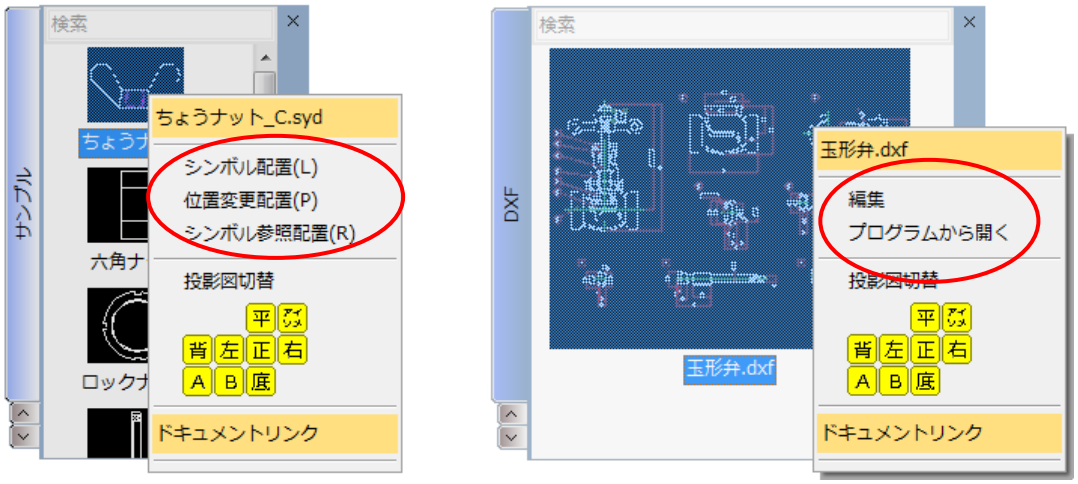
- イメージデータファイル（.tif、.jpg、.bmp）
- Microsoft Office 関連データファイル
- テキストファイル（.txt）
- PDF ファイル
- 外部コマンドファイル（.exe）

7. コンテンツマネージャからのファイル配置方法

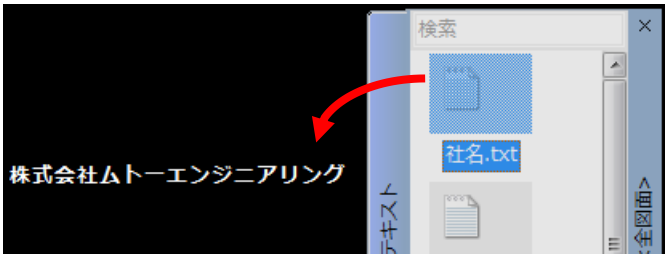
コンテンツマネージャに登録されたサムネイルをダブルクリックすると、ファイルをアクティブな図面に配置したり、開いたりすることができます。
Microsoft Office 文書などの Spirit で開けないファイルに関しては、関連付くアプリケーションで起動します。
※登録モードの場合、ダブルクリック操作はできません。



また、サムネイルを右クリックすると、登録されたファイルに対応したメニューを表示します。目的に応じたファイル配置方法、起動方法を選択できます。



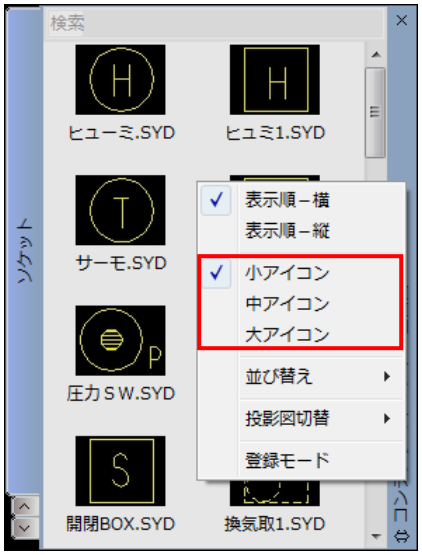
テキストファイルをコンテンツマネージャから起動した場合、テキストファイルの内容を文字要素として配置することができます。



シンボルを配置する際の初期値設定は［設定－カスタマイズ－コンテンツマネージャ］にて行います。「16. コンテンツマネージャの初期設定」も併せて参照ください。

8. 登録したファイルのサムネイルサイズを変更する

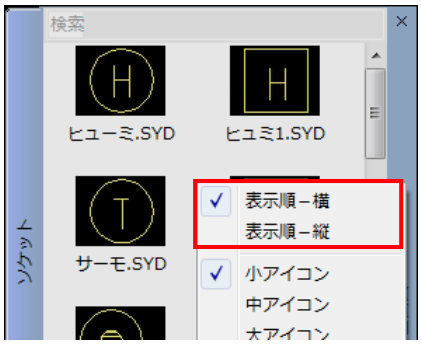
コンテンツマネージャに表示されるサムネイルサイズの変更を行うことができます。パネル部のサムネイル以外の部分を右クリックし、小・中・大アイコンの中から選択します。

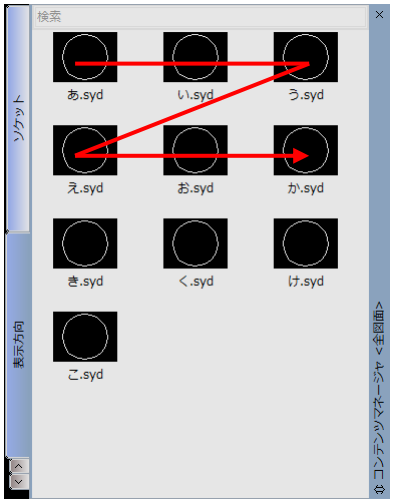


実データが登録されているディレクトリにサムネイルとして使用するイメージファイル「ファイル名_S/M/L.jpg」が作成されます。ディスク容量にご注意ください。
中アイコンに関しては、M-Draf 図面ファイルの場合には図面が持つサムネイルイメージを使用するため、「ファイル名_M.jpg」は作成しません。

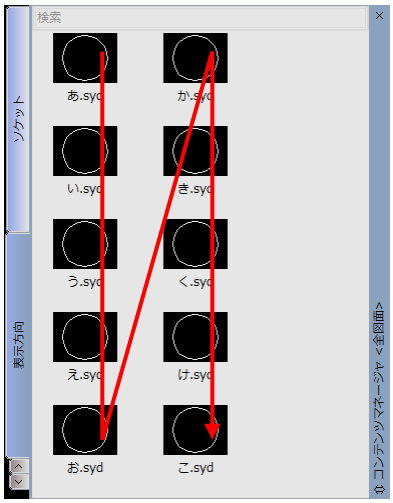
9. 登録したファイルの表示方向、表示順序に関して

コンテンツマネージャに表示されるサムネイルの表示方向、表示順序を変更することができます。表示方向はパネル部のサムネイル以外の部分を右クリックし、「表示順－横」「表示順－縦」の何れかから選択します。



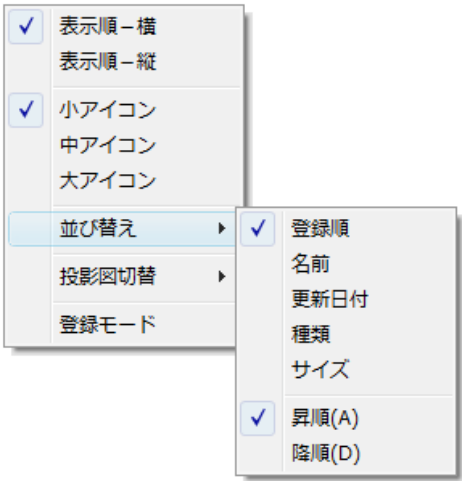


表示順－横

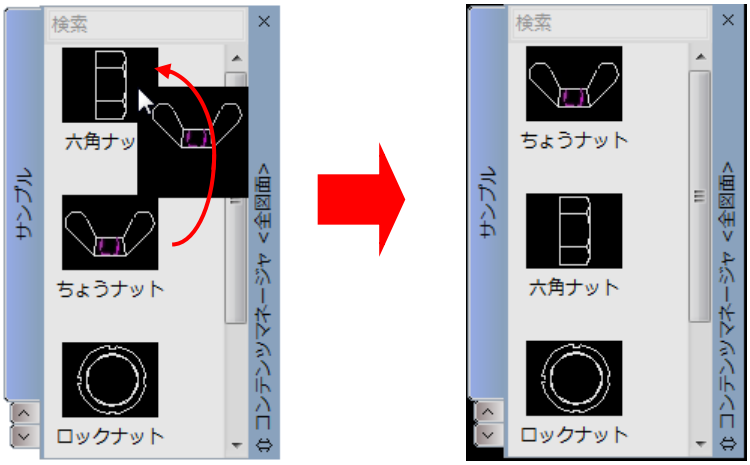


表示順－縦

ファイルの表示順序は、パネル部のサムネイル以外の部分を右クリックし、「並び替え」の中から選択します。



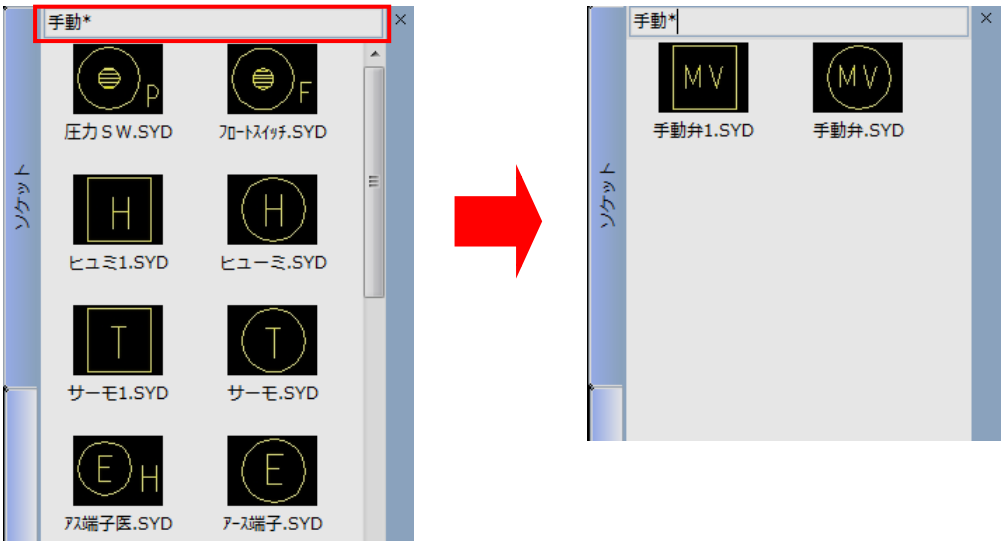
並び替えが「登録順」の場合、サムネイルをドラッグ&ドロップすることで、登録順の変更を行うことができます。



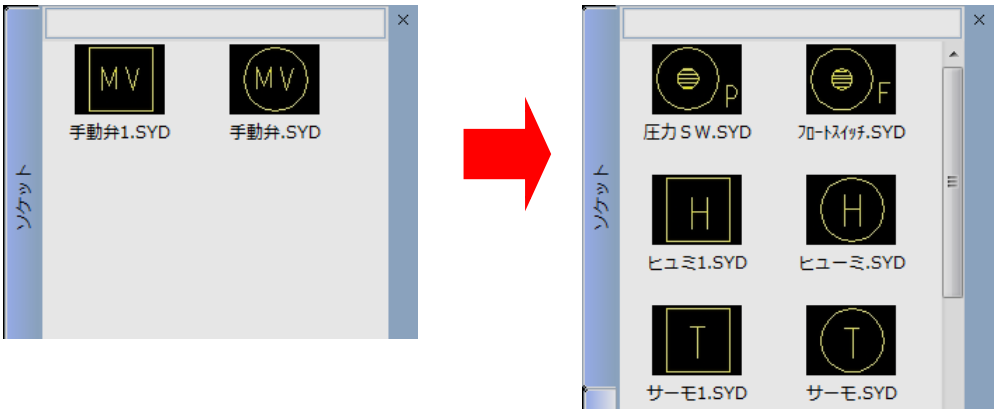
登録モードの場合、サムネイルを右クリックし、「プロパティ」からも登録順の変更を行えます。

10. 指定したファイル名でフィルタ表示を行う

タブに登録された図面ファイルや Office 文書などの中から、フィルタ機能を使用することで目的のファイルを簡単に見つけることができます。パネル部上部にある検索 BOX にファイル名を入力し、Enter を押下します。
検索 BOX ではワイルドカードとして、「*」「?」をサポートしています。



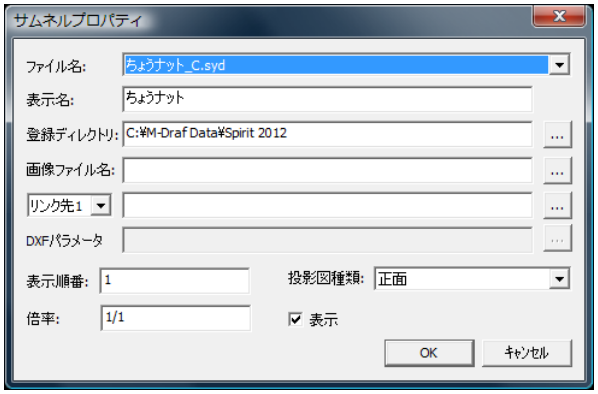
全てのファイル表示に戻したい場合は、検索 BOX を空欄にして Enter を押下します。



補足：　ワイルドカードについて
①「*」：任意の文字列（複数文字）を表します。
②「?」：任意の文字（1 文字）を表します。

11. 登録ファイルのコンテンツマネージャ専用プロパティ

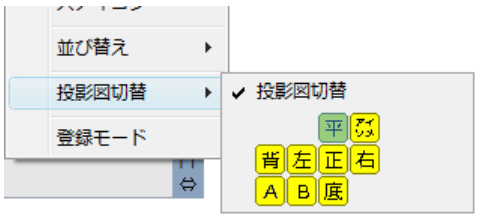
登録ファイルのコンテンツマネージャ専用プロパティに各種設定を行うことで、ドキュメントの関連付けや投影面の登録などを行うことができます。プロパティを開くには、登録モードに変更し、サムネイルを右クリックして「プロパティ」を起動します。

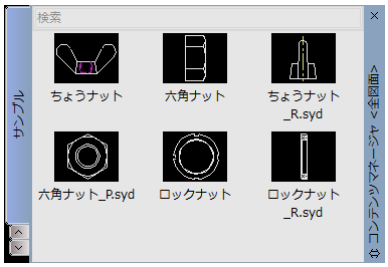


ファイル名	プルダウンを切替えて、各ファイルのプロパティ情報を設定します。
表示名	コンテンツマネージャでの表示名を変更できます。
登録 ディレクトリ	実ファイルデータのパス情報を表示（設定）します。
画像ファイル名	サムネイルとして使用する画像ファイルを設定します。
リンク先 1～5 (プルダウン切替)	関連するドキュメントやメーカーホームページなどの URL を設定します。サムネイルを右クリックした場合に、関連先として表示されます。
DXF パラメータ	コンテンツマネージャに登録された DWG／DXF を開く際に使用する DXF パラメータファイルを設定します。指定がない場合、Spirit 本体に設定されているパラメータファイルを使用します。
表示順番	コンテンツマネージャでの表示順番を設定します。
投影図種類	投影面を設定します。
倍率	シンボルファイルを配置する際の倍率を設定します。
表示	コンテンツマネージャへの表示／非表示を設定します。 登録モードの場合は、非表示のファイルも表示します。

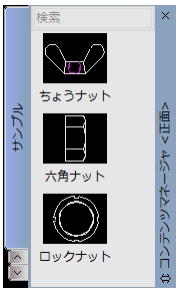
12. 投影面の表示切替え

プロパティで、各ファイルに対して投影面を登録しておくと、投影面表示した場合にフィルタ表示を行うことができます。サムネイルまたはパネル部を右クリックし、投影図切替メニューから投影面フィルタを行います。

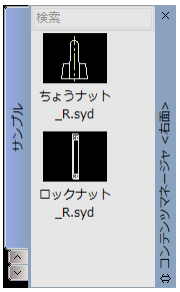




全図面表示



正面図表示



右側面表示

投影面フィルタを解除するには、「投影図切替」をクリックします。

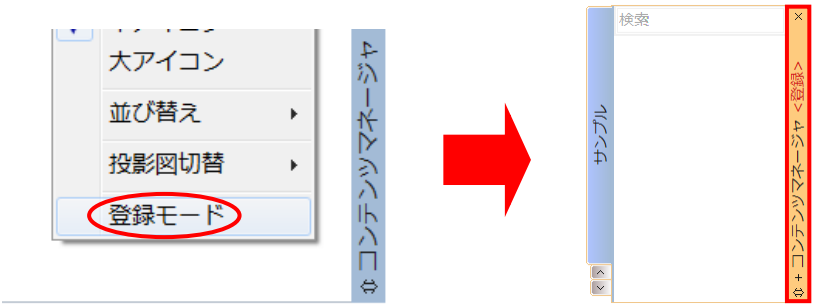
※投影面フィルタ中は、投影面の登録がされていない各種ファイル・コマンド群の表示はされません。

13. コマンドの登録

M-Draf Spirit のコマンドを色・ペン・線種・レイヤ・実／仮要素などのスタイル情報を記憶した状態でコンテンツマネージャへ登録することができます。

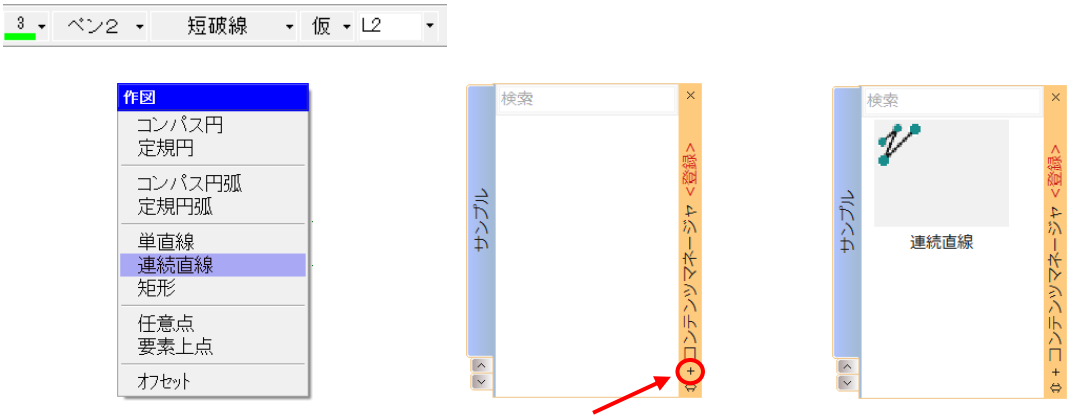
方法は以下の通りです。

1. パネル部分を右クリックし、表示されるメニューから「登録モード」をクリックします。



コンテンツマネージャのバー部分が黄色で表示されたら、「登録モード」です。

2. 登録したいコマンドを実行し、バー部分に表示される「+」マークの登録ボタンを押下します。サムネイルが新たに追加され、コマンドが登録されます。



コマンド登録時のスタイル情報を記憶しています。登録されたサムネイルを右クリックして「プロパティ」を起動し、表示名を「連続直線（中心線用）」などに適宜変更します。

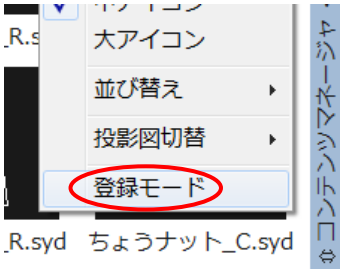
3. タブへのファイル登録が終了したら、パネル部分を右クリックし、登録モードを解除します。コンテンツマネージャのバー部分が青色で表示されます

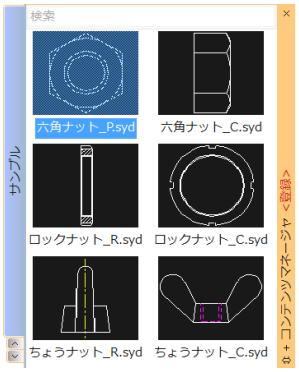
14. 登録ファイル・登録コマンドの削除

コンテンツマネージャに登録したファイルやコマンドの削除を行います。

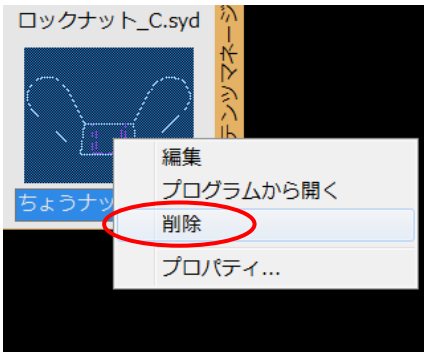
方法は以下の通りです。

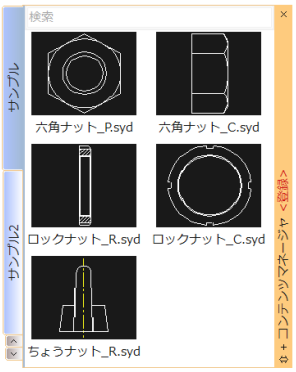
1. パネル部分を右クリックし、表示されるメニューから「登録モード」をクリックします。





2. 削除するファイルまたはコマンドを右クリックし、表示メニューから「削除」をクリックします。





選択したファイルまたはコマンド一覧が削除されます。

3. ファイルの削除が終了したら、パネル部分を右クリックし、登録モードを解除します。コンテンツマネージャのバー部分が青色で表示されます。

15. コンテンツマネージャの共有・管理

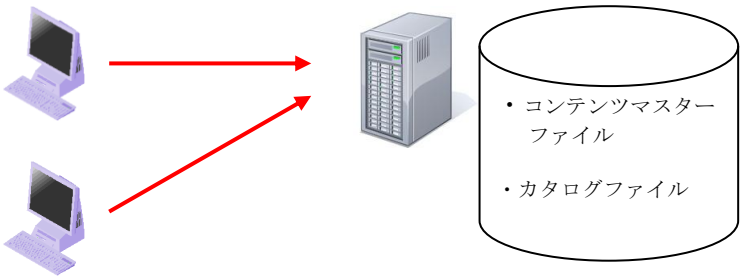
コンテンツマネージャは共有して使用することができます。

注意・制限事項

コンテンツマネージャは管理ファイルとして CSV ファイルを使用します。このため、コンテンツマネージャを共有した状態で各ユーザが登録や削除を行いますと、管理ファイルの読込みや管理ファイルへの書込みのタイミングにより意図した結果を得られない場合があります。共有を行う際は、タブの追加やファイル・コマンドの登録を行う管理者を決定頂き、Windows のアクセス権を使用した運用を行ってください。

共有方法①：コンテンツマネージャ全てを共有（管理者が一括管理）

コンテンツマスターファイルおよびカタログファイルをサーバにて管理します。これら管理ファイルを置くディレクトリには、一般ユーザのアクセス権は参照権のみを付与し、管理者がタブ情報とタブに登録する図面ファイルを管理します。

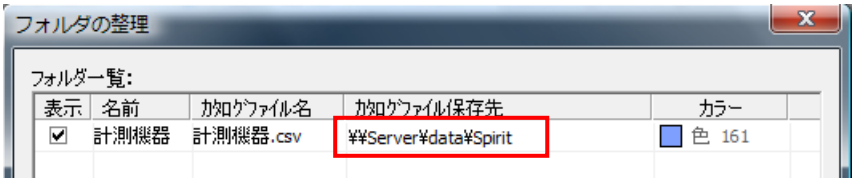


手順

①管理者は Spirit を起動後、［設定－カスタマイズ－コンテンツ・マネージャ］を開き、サーバに配置するコンテンツマスターファイルのディレクトリを指定します。

②管理者はコンテンツマネージャにタブを作成し、シンボルファイルや図面ファイルを登録します。

・タブを作成する場合、カタログファイルの指定先は、必ずサーバ上のアクセス権の設定がされたディレクトリを指定します。

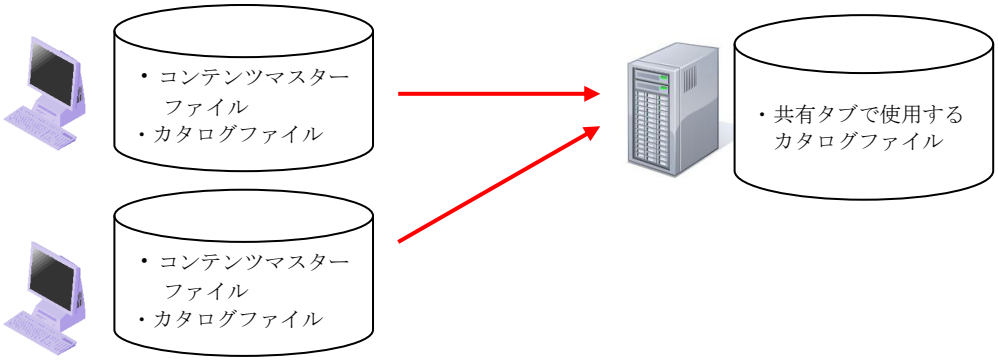


・シンボルファイルや図面ファイルはサーバ上に置かれたファイルを登録します。

④一般ユーザの方は手順①の作業を行い、Spirit を再起動します。

共有方法②：特定のタブのみを共有（管理者が一括管理）

コンテンツマスターファイルはクライアント PC ごとに管理し、共有タブで使用するカタログファイルはサーバにて管理します。

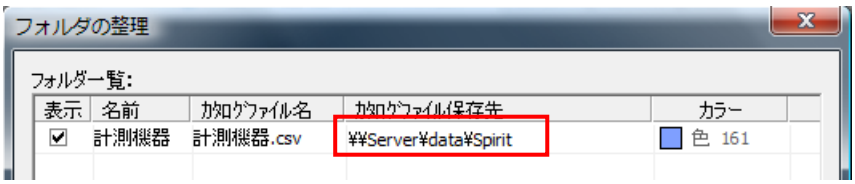


共有タブで使用するカタログファイルを置くディレクトリには、一般ユーザのアクセス権は参照権のみを付与し、管理者がタブに登録する図面ファイルを管理します。

手順

①管理者はコンテンツマネージャにタブを作成し、シンボルファイルや図面ファイルを登録します。

・タブを作成する場合、カタログファイルの指定先は、必ずサーバ上のアクセス権の設定がされたディレクトリを指定します。



・シンボルファイルや図面ファイルはサーバ上に置かれたファイルを登録します。

②一般ユーザの方は手順①と同じタブを追加し、Spirit を再起動します。

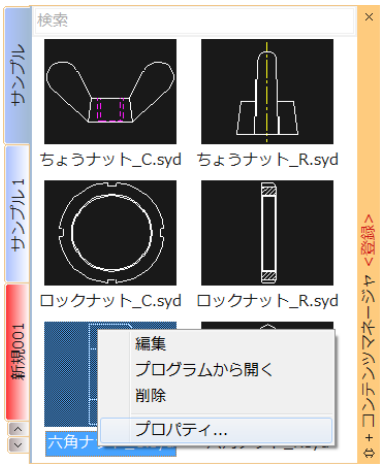
16. コンテンツマネージャの初期設定

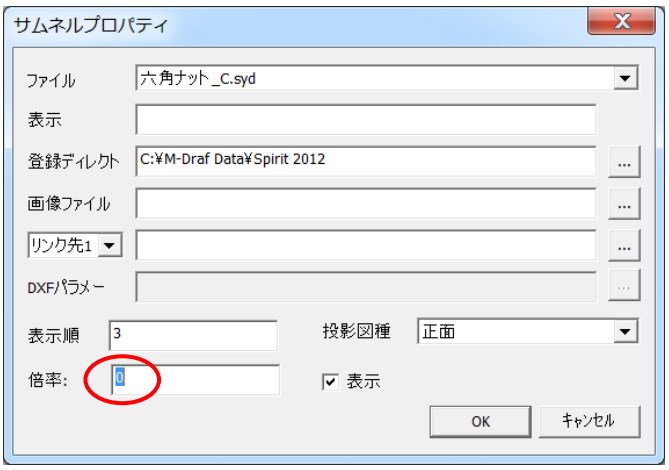
コンテンツマネージャーの初期設定を行います。
カスタマイズ画面を開くには、メニューバーの［設定］から［カスタマイズ］をクリックし、［コンテンツマネージャ］タブを選択します。

シンボル配置を行う際の初期値を設定できます。

倍率	コンテンツマネージャからシンボル配置を行う時の、「倍率」の初期値を設定します。（※）
回転角	コンテンツマネージャからシンボル配置を行う時の、「回転角」の初期値を設定します。
配置モード	コンテンツマネージャからシンボル配置を行う時の、サブコマンドの「配置モード」の初期値を設定します。
レイヤ圧縮	コンテンツマネージャからシンボル配置を行う時の、サブコマンドの「レイヤ圧縮」の初期値を設定します。
完全分解	コンテンツマネージャからシンボル配置を行う時の、サブコマンドの「完全圧縮」の初期値を設定します。
反復なし	コンテンツマネージャからシンボル配置を行う時の、サブコマンドの「反復なし」の初期値を設定します。

（※）［倍率］は、シンボルのプロパティの倍率が「0」以外に設定されている場合、プロパティの値が優先され、カスタマイズの値は反映されません。カスタマイズの［倍率］の値を反映させる場合には、シンボルのプロパティの倍率を「0」に設定してください。





版権
M-Draf Spirit のマニュアル、取扱説明書に関する権利はすべて株式会社ムトーエンジニアリングに帰属します。
これらの一部、又は全部を無断で複製、複写、電子的／磁気的データへの変更、その他一切の著作権を侵害する行為を禁じます。

注意事項
本書は、2011 年 8 月現在の仕様を解説しています。
今後の仕様は、予告なく変更することがあります。

株式会社ムトーエンジニアリング
東京都品川区西五反田 7 丁目 21 番 1 号　第 5TOC ビル

Copyright ⓒ Mutoh Engineering Ltd. All rights reserved. Printed in Japan.